

審議会等の会議録

審議会等名	海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 第2回会議
開催日時 (意見提出期間)	令和5年5月24日(水) 午前9時30分から
場所	海老名市役所 6階 全員協議会室
出席者 (意見提出者)	<p>1 委員 (11名) 内山会長、前田副会長 守屋委員、安田委員、豊永委員、窪倉委員、三宅委員、辻委員、杉山委員、勝田委員、江崎委員</p> <p>2 関係者 (2名) さつき町地域包括支援センター 大谷氏 海老名市基幹型地域包括支援センター 鈴木氏</p> <p>3 事務局 (11名) 保健福祉部長 伊藤 保健福祉部次長 小松 保健福祉部次長 篠原</p> <p>介護保険課長 田中 介護保険課課長補佐兼係長 栗本 介護保険課主幹兼係長 三浦 介護保険課主幹兼係長 横溝</p> <p>保健福祉部参事兼地域包括ケア推進課長 金指 地域包括ケア推進課主幹兼係長 伏見 地域包括ケア推進課主任主事 大野 地域包括ケア推進課主事 小川</p>
傍聴人数	0名
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開

一部非公開・ 非公開の理由	
議 題	<p>(1) 令和4年度地域ケア会議等について</p> <p>(2) 各種調査の結果について</p> <p>① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について</p> <p>② 在宅介護実態調査について</p> <p>③ 高齢者福祉及び介護保険に関する調査について</p> <p>(3) スケジュールについて</p> <p>(4) その他</p>
資 料	<p>1 次第 海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会第2回会議次第</p> <p>2 資料</p> <p>【資料1号】 令和4年度地域ケア会議について</p> <p>【資料2-1号】 海老名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果概要について</p> <p>【資料2-2号】 海老名市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果報告書</p> <p>【資料3-1号】 在宅介護実態調査の集計結果に基づく分析・考察について</p> <p>【資料3-2号】 在宅介護実態調査の集計結果（単純集計版）</p> <p>【資料3-3号】 在宅介護実態調査の集計結果（クロス集計版）</p> <p>【資料4号】 高齢者福祉及び介護保険に関する調査結果</p>

【資料 5 号】

えびな高齢者プラン 2 1 策定スケジュール（案）

○会議の内容（提出された意見及びそれに対する回答）

1 開 会	
【事務局】	《事務局の進行により開会》
2 あいさつ	
【保健福祉 部長】	<ul style="list-style-type: none">○ 本日はお忙しい中、ご出席頂きありがとうございます。○ 新型コロナウイルスが 5 類に引き下げになった関係で、席の間のアクリルパーテーションが取り除かれている。皆さん、お顔がしっかり見える状況であるので、今まで以上に活発な意見交換ができると思う。○ 各種調査の結果や地域包括支援センター職員の話をお願いいただき、今後の計画策定に向けて土台作りの場とさせていただきたいと考えている。○ 国からも計画策定に向けた指針等が発出されるが、市としては高齢者の方がこれからも地域で安心して暮らせるような計画策定に取り組んでいく。○ 本日は限られた時間であるが、活発な議論をお願いしたいと思う。
3 議事	
(1) 令和 4 年度地域ケア会議等について	
【事務局】	<ul style="list-style-type: none">○ 前回会議の後に、会長と事務局において、高齢者の生活について最前線に対応頂いている、地域包括支援センターの職員の意見や現場対応で把握している地域のニーズについて本計画に反映できないか、方法について協議をさせて頂いた。○ 結果として、設置要綱第 8 条の規定に基づき、本会議に関係者として地域包括支援センターの職員に参加頂くこととした。○ 今回の会議では、地域ケア会議の開催状況や日々の支援で把握しているニーズについて説明頂き、次回会議からはオブザーバーとしてご意見等頂く形で、参加頂く予定になっている。
【関係者】	《関係者から資料 1 号に沿って説明》
【会 長】	<ul style="list-style-type: none">○ ご意見や質問はありますでしょうか。
【委 員】	<ul style="list-style-type: none">○ 地域ケア会議の出席メンバーについて教えてください。

【関係者】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者の方を支援する、地域包括支援センター、民生委員、医療・介護関係者の他、時にはご近所の方に出席頂くこともある。 ○ 決まりはなく、対象者の方にとって有益で効果的と思われる方に声かけをさせて頂いている。
【会 長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本日の説明については、これからの協議の中で、海老名市で何か足りないか？ということ委員の皆さんの頭の中に入れて頂いて、検討していく上で、材料として頂きたい。 ○ そのため、資料1号の最後の部分はよく記憶に留めて頂きたい。ケアマネジャーの不足。看護小規模多機能施設の不足。ゴミ出し支援の不足、スローレジなど。
【委 員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ケア会議の開催回数について各センターで差がある理由について考えを聞きたい。
【関係者】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括職員の人員欠員によるマンパワーの不足も影響として考えられる。欠員のため募集をかけても応募してくれる方がいないこともある。 ○ 中央地域包括支援センターの開催回数が多くなっているが、これは地域のサロンとうまく調整ができたためと思われる。 ○ 事例に応じて開催するスタンスもあるので、平均がとれないこともあって、この回数となっている。
【関係者】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央地域では地区社会福祉協議会の定例会（役員）が開催されており、その中で情報共有を図っている。そのこともあって集まりやすいのではないか。
【会 長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一点、補足です。 ○ 平均寿命（資料中）については、今年生まれた方が何歳まで生きられるかというものになります。 ○ 不安にさせるわけではないですが、委員の皆さんの平均寿命というわけではないです。
(2) 各種調査の結果について	
【事務局】	<p>《事務局から資料2～3号に沿って説明》</p>
【会 長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最初に「介護予防・日常圏域ニーズ調査」についてご意見ありますでしょうか。
【委 員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症に関する設問があったが、フレイルに関する設問についても次から追加してもらえればと思う。 ○ フレイルの予防は重要。

【会 長】	○ 口腔に関する質問は入っているが全身のフレイルについては入っていないようだ。
【委員】	○ フレイルがどういったものか知ってもらうためにも設問について頂ければと思う。
【事務局】	○ 今回の調査は国の様式、調査項目を基に一部市の項目を追加している。 ○ 次回調査を行う際には、国の方で「ニーズ調査」という枠組が変わらなければ、項目についても検討する機会があると思う。
【会 長】	○ 続いて「在宅介護実態調査」についてはいかがでしょうか。 ○ 本日たくさんあって（資料）、すぐに質問が出てこないかもしれない。 ○ 資料を持ち帰って頂いて、思いついた時とか次回会議までの間に、ご意見を頂いてもいいと思う。資料をよく読んで頂くのも大事かと思う。
【会 長】	○ 高齢者福祉及び介護保険に関する調査についてはどうでしょうか。
【委 員】	○ 地域包括支援センターの方の業務が大変だと思う。 ○ コロナの時にオンライン診療が始まったと思う。 ○ これからAIの発達があると思うが、見守りについてオンラインを使うということも検討していく必要があるのではないか。 ○ 全てできるという訳ではないと思うが、負担軽減の観点からどうだろうか。
【事務局】	○ ケアマネジャーなどが苦勞しているということは感じている。 ○ いろいろなところで、会議がオンライン化している部分もあるので、すぐには難しいと思うが、AIやITの活用についてはこれから検討していきたいと思う。
【事務局】	○ オンラインとは少し異なるかもしれないが、見守りの観点でいうと、本市では緊急通報システムの貸与の事業がある。
【会 長】	○ そういったサービスを市民全体が知っているかという点も重要。 ○ 当会を通じても広報をしなければならない。大事なことである。

【会 長】	○ 全体を通じて何かありますでしょうか。
【会 長】	○ 私から一点。資料 3 - 1 号の 7 ページに要介護 3 以上でサービス未利用が 24.3% とあるがここが私は大事だと思う。 ○ 何でサービスを利用しないのか、何で使えないのか。未利用、未使用も発掘、見ていくことが大事。大事にしてもらいたい。
【会 長】	○ 委員の皆さんに順番に今日の感想やご意見を聞きたいと思う。
【委 員】	○ 民生委員として一般の高齢の方にこんな事があることをお知らせすることが重要だと思う。 ○ 自分も含めて難しいことはダメ。シンプルにして「こんなことできるよ！」と、お伝えできるように自分も考えていきたい。
【委 員】	○ 先ほど、会長が要介護 3 以上の未利用の方について言及されていたが、よく見ると要介護 1・2 の方でも未利用の方がいた。 ○ 私は母が認知症で、要介護 1・2 ぐらいの時は本人元気で動くことができるため、何処かに行ってしまうたりして一番大変。 ○ 要介護 1・2 で未利用の方も認知症が原因の可能性もあるため、調査では、認知症の方とそうではない方で分けて調査できないかと感じた。
【委 員】	○ 結果を受けて、その通りだと思う。 ○ サービス未利用ということは、サービスがないということではないかと思う。 ○ どうやってサービスを作るかという所が、課題だと思う。
【委 員】	○ 皆さんに周知されていないものがあって、それをどうやって伝えていくかということが大変。 ○ 皆さん生活していく中で、実際に自分が必要ないものは興味が向かない。皆さんに興味を持ってもらえるような施策を考えていく必要があると思う。
【委 員】	○ 興味深く拝見したのは、資料 4 号の 8 ページ、医療との連携が取れているかという設問。一見、数年前より改善されていると思いつつ、取れていないという回答も増えており、耳が痛い結果。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つは、地域包括ケアシステムの中で、医療と介護が竹を割ったように分けることがどうしてもできない中で、コンフリクトが起きてしまっている状況がある。 ○ これについて如何に手を結ぶかというのが、病院としての課題と思った。 ○ 介護が重くなった人がすぐに施設に入れない。在宅の限界値にいる方の待機期間が長い。 ○ 国から課せられて病院はどんどん短く短く言われている。そうしないとコロナで経験したようにベッドがひっ迫してしまう。 ○ ひっ迫してしまうと救急車両を受け入れできない。救急病院にとっては一番あってはならないこと。 ○ そのためには、在宅限界の方にはできれば施設となるが、そこに入るベッド数が足りない。 ○ 一方で患者さんの声を聴いていると、経済的な問題、社会保障の問題は切っては切れない。一つの課題と思う。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疑問点として、資料4号の14ページに前回調査では「夜間対応型サービスの希望が多くあったが、今回調査ではそうじゃなかったと記載があるが、海老名市では夜間対応型サービスの問題は解決したのか。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細かいサービス利用状況の資料が手元にないが、事業所が増えて解決したというわけではないと思う。 ○ 前回の調査ではそういう意見が多かった。今回の調査では前回と比べて回答数が少なく、偏った回答になった可能性もある。 ○ ただ、前回と今回を比較したポイントとして記載させて頂いた。 ○ 事業所整備は課題であるので、いろいろなデータを基に検討すべきと考えている。
【会長】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 回答数が圧倒的に少ないので、参考データとして。 ○ 自分の理解としては、夜間対応型訪問介護は必要で解決した訳ではないけれども、それにも増してさらに（不足している）という風に読んだ方がいいと思う。
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分も利用しない理由について深堀していくことが大切と考える。

<p>【委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほどフレイルの話があった。2年ほど前まで、市の歯科検診へ行くと、嚥下機能や咀嚼機能について調査あったが、今年行ったらなかった。 ○ 歯が一番大事。咀嚼機能が衰えると認知症にもなりやすいと聞く。そういったことを一般にわかるようにしてほしい。 ○ 特に歯槽膿漏、自分は虫歯がないから医者に行かないという人が多いが、いつの間にか進行していると聞く。 ○ 本人の自覚を促す方法があったらいい。
<p>【会長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大々的には市と歯科医師会、東大で2年か3年ぐらいキャンペーンをやっていたと思う。 ○ しかし止めてしまった訳ではない。歯科医師会は非常にフレイルに力を入れている。 ○ 歯医者に行ったらぜひ話を聞いてみて欲しい。
<p>【委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査の結果についてはなるほどと感じた。 ○ 人材、事業所、介護施設、色々な所が不足していることが結果に出ていると思う。 ○ この計画では不足が判明すれば増やすという話になっていくと思うが、実際には行政や色々な所が動いていくと思う。 ○ ニーズに応じた計画をしっかりと立てて、それを現実の施策に持っていかなければならないと感じた。
<p>【会長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非常に大切なご意見。 ○ 策定ができて、発行して、その後実行がどうなるか、どのような形で実行されるか、事務局の方、次回教えてください。
<p>【副会長】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査の結果で、何が不足しているか？という所が見えてきたと思う。 ○ 結果を踏まえて、何が必要か、どういう風にしていかなければならないかが大事だと思った。 ○ 資料3号で単身で、要介護3以上で、サービス未利用の割合が40%以上いることに驚いた。自分から発信できずにそのままになっているのではないかと心配なところがあった。今後十分検討頂きたい。 ○ 介護の人材不足は全国的に深刻と思う。 ○ 先ほど、地域包括支援センターからゴミ出しと金銭管理の不足について話がありましたが、社会福祉協議会でも安否確認をしながらゴミ出しというシステムと、日常生活自立支援

